

会議の名称	令和5年度 第1回 和泉市医療と介護の連携推進審議会
開催日時	令和5年7月28日（金）午後2時から3時15分まで
開催場所	和泉市役所庁舎本館5階 会議室5A
出席者	<p>【委員】 (出席)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 和泉市医師会（泉谷委員） ・ 和泉市薬剤師会（上嶋委員） ・ 大阪介護支援専門員協会和泉市支部（松阪委員） ・ 和泉市薬剤師会（北野委員） ・ 和泉保健所管内訪問看護ステーション連絡会（上原委員） ・ 泉州地域リハビリテーション地域支援センター（竹内委員） ・ 公募市民（三好委員） ・ 公募市民（中委員） ・ 公募市民（吉田委員） ・ 桃山学院大学社会学部社会福祉学科（川井委員） ・ 大阪府和泉保健所（福島委員） ・ 和泉市地域包括支援センター（迫田委員） <p>(欠席)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 和泉市立総合医療センター（村上委員） <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 吉田副市長 ・ 福祉部（西川部長） ・ 高齢介護室（奥野室長・岩橋課長・古川総括主幹・勝田総括主査・三木主任） <p>和泉市在宅医療介護相談支援センター 上村コーディネーター</p>
会議の議題	1. 令和4年度活動報告と令和5年度の活動計画案について 2. その他
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他	会議公開 傍聴者3名
審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
別紙のとおり	

審議内容

○事務局 令和5年度第1回和泉市医療と介護の連携推進審議会開会

○事務局 委員の出席状況より本審議会が成立することを報告

○部長

- 酷暑の中、また多忙を極める中、本審議会への出席を頂いたことに敬意。
- ここ数年はコロナの感染拡大により、様々な活動が制限された期間であった。
- 今年5月にコロナが5類感染症に分類されたことにより、コロナ前の日常が戻りつつある。
- 本市の医療と介護の連携の取り組みは今年で17年目。
- コロナ前のように委員のリーダーシップのもと、多様な専門職の連携体制推進への取り組みに期待。
- 健康寿命を延ばすこと・住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることを目標とし、施策に取り組む所存。協力を依頼。

○会長

- 非常に高齢化社会が進展、立ち向かう課題が益々増加。
- 今回のコロナ禍で、日本の医療提供体制の脆弱さが露呈。
- ただ、このコロナ禍は2040年の医療モデルと言われている。
- コロナ禍で感染者数が急増し、通院困難な患者が非常に増えた結果、病院あるいは救急の負担が増え機能不全に陥った。
- 同様に2040年には、高齢者が急増し要介護者が増え、通院困難患者が非常に増える。病院・救急の負担が増加すると考える。
- 今から地域医療・在宅医療体制を強化していかなければならない。
- 現在直面している課題というのは、20年後の医療・介護の姿である。
- 人生会議・家族会議の必要性も高まっているが、果たして本当にできるのか。
- 厚労省も、これまでの急性期の大病院を中心とするいわゆる垂直型の医療提供体制から、かかりつけ医を中心とする地域包括ケアシステムへの水平連携中心へのシフトを掲げている。
- 地域医療病院の集約化、そして地域医療・在宅医療の強化、地域包括ネットワークとの協働、これらが三位一体となって連携する必要がある。
- 和泉市の医療介護に関わるメンバーが常にオープンマインドで、フレキシブルな対応がとれることを期待。

○事務局（高齢介護室） 「議事1 令和4年度の活動報告と令和5年度の活動計画案について」
を資料1～3・追加資料に基づき説明

○事務局（和泉市在宅医療介護相談支援センター） 「令和4年度実績報告について」スライドに
基づき説明

○会長 ご意見、質問等確認。

○委員

- 訪問介護事業所の会が開催出来てよかった。今後、参加事業所数を増やしていく必要性がある。
- 現場は、集まる時間を作ることが難しい。参加しやすい方法であったり、参加者だけに負担にならないよう、和泉市在宅医療介護連携コーディネーターを中心にというよりは、市が中心となりながら環境を作っていくとなかなか定着できないと考える。
- 今後通所サービスはどのようなのかも含めて、検討してほしい。

○会長

- ACP・覚書について、早急に進めていかないと救急病院にかなり負担がかかっていくと思うし、ACPの推進に関して覚書をぜひ更にバージョンアップしてACPを推進していくというか、作って頂けるようにと思う。あまり時間の猶予がないと思う。

○委員

- ACPのところ、覚書の運用があまり決まっていない。
- 作成された経緯が、地域包括が、担当ケアマネジャーが困らないようにというので作成したのが始まりだと思うが、現実的にそれを周知できていない・使えていないというのがある。
- 実際のところ、ケアマネジャーじゃなくても、最初に対象者に関わった者が書き始められたら良いのではと思う。
- 病院にかかって、退院するときにケアマネジャーをつけないといけないと思ったときに病院で書くであるとか、地域包括に関わったときに地域包括が書くであるとか、最初にかかわった人がまず書く・次に関わった人が書くとか、そういう形で繋げていくようなものに出来たらなあと思う。
- 十分に使えていなかったの、書式等に関しては1回使ってみて変えていかないといけないと思う。
- ACPのフォーラムを行うときにも、意識の高い市民の方は色々考えて終活ノートのものを既に書かれていたりするが、実際に治療が必要となるときに考える内容とは変わってくると思うし、知識のない方もいる中で、延命治療はしませんと一言で言っても、何を延命治療というのかということも捉え方が様々。この1枚の紙だけで、どこまでの治療を求めているのかを判断するのはすごく難しい。
- あくまで覚書は入り口の段階と思って、それから更に考えていかないといけない部分においては、足りない知識を専門職も含めてどうするか検討しないといけない。
- 専門職向け・市民向けなど、色々な研修の内容も検討いただければよい。

○会長

- 確かにケアマネジャーだけではなく、こっちからどんどんやっていかないと難しい。

○委員

- (キ) ①地域出張型在宅医療介護セミナーについて、セミナー内容の決め方など、こういった形で決められているのか気になった。

○事務局

- 審議会の下部組織である専門部会に出て頂いているそれぞれの職種の方から、今こういったことが市民の中で必要な課題となっている・問題ではないかなど話し合っ、講座内容を考えて頂いている。その結果、去年より ACP の講座が 8 項目目が追加となった。
- これからも市民のニーズに応じて、講座内容について引き続き協議検討していきたい。

○委員

- 和泉市は山手から海側まであって、それぞれの地域課題もあるかと思うので、市の強みを活かしてデータを利用するなどして、セミナー内容を下部組織から吸い上げるだけでなく、実態の数値や統計を見ながら考えて頂ければ、地域に即した利益実感のあるセミナーに繋がると思う。

○会長

- それぞれの場所に沿った内容で進めていけると良い。

○委員

- 市民として、体験や今後の自分たちの不安としまして、相談が少ないのは、皆さんが周知されていないのか・あまり期待されていないのか・内容を把握されていないのか・案内がされていないのか、理由が知りたい。
- 病院の地域連携室などで、冷静な病院選びの対応を優しくして頂けないかなというのは、患者の切実な、命に関わる不安。
- 強く願うのは窓口一本化で、何もわからない市民が適正な案内をして頂ける窓口が可能かどうか、その辺のところを専門家で話し合っ頂いていると思うが、和泉市だけではなく、地域広いで協力し合い連携しあっ頂ければすごく有難い。

○事務局

- 和泉市在宅医療介護連携コーディネーターに関して、相談は医療と介護の専門職からだけである。
- 市民の相談先として、令和 4 年度に取り組んだ「在宅医療でできること」というチラシを作成。
- まだ市民に浸透していないので、そういったチラシの周知や相談先、地域包括支援センターなど皆様の相談先を、わかりやすく周知できるよう活動していきたい。

○会長

- 来年度から新しく第 8 次の医療計画が始まる予定。その中で、かかりつけ医の機能や医療の面に関して情報共有できるような方向性で順次考えていくと思う。

○会長 その他ご意見等伺うも意見・異議なし。

「議事 1 令和4年度の活動報告と令和5年度の活動計画案について」が承認。

○事務局（高齢介護室） 第9期介護保険事業計画の策定について説明。

○会長 その他連絡事項等伺うも意見・異議なし。

○会長 本日の案件は以上。事務局に返す。

○事務局（高齢介護室） 本日の案件は以上でございます。

○副市長

- 市長に成り代わって、補足説明とコメントを返すことで、御礼に代えさせて頂く。市長と手分けして審議会等の議論に参加しているところ。目的は2つ。1つは私たちのマネジメントを強化するという事、もう1つは市民の代表の皆様方のご意見を行政の案作りに活かしていきたいという思いがあるからである。
- 本日の振り返りだが、追加資料について、頂いた意見が今どうなっているのかということが書けていないので、改めての意見を頂けた。
- 項目について足りないものがある。前は社会のあるべき姿を描かないといけないとか、次世代の育成、重点課題を設ける、目標の設定を含めてPDCAを回していかないといけないとか、市民への働きかけとか、こういう意見もでたわけなので、その進捗状況をご覧いただいた上で意見を交わせるべきであった。
- 主に行政としての役割を精査してもらいたいというご意見も頂いた。
- 泉谷会長から話が合ったように、計画の立て方については各基本計画が本年度見直しの時期なので、早急にやっていきたい。
- 次に、ACPの具体的な運用を詰める話については、具体的に進めていくための方法論というか、マニュアルというか、フローというか、それを早急に詰めて実施していくという運びにした。
- 次に、セミナーの内容について、部会にもチーム代表の皆様や私のマネジメントをしっかり効かせていかなければならないと思っているので、方法論は少し考える。
- 最後に、情報を送る側と受け取る側の問題について、市民の皆様方が何に困っているのか・何を必要としているのかという点について、確認する必要がある。
- 従来の調査ではなく、そういった視点に立った市民の意識調査を今年度行う計画になっており、各部局ともその調整に向けて準備しているところなので、その結果を踏まえて回答していきたい。

○事務局（高齢介護室） これにて、令和5年度第1回和泉市医療と介護の連携推進審議会を閉会いたします。